

「草と緑」掲載記事一覧

発行年	巻	著者	タイトル	ページ
2009	1	伊藤操子	防草緑化ってなに？	6-9
2009	1	小西真衣	チガヤ (<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Beauv.)	10-15
2010	2	伊藤幹二	‘緑地’とは:その問題点と取り扱い	9-16
2010	2	佐治健介	シバザクラ	17-23
2010	2	大出真毅	イワダレソウ	24-28
2010	2	小西真衣	セイトカアワダチソウ (<i>Solidago altissima</i> L.)	29-35
2010	2	伊藤操子	クズ (<i>Pueraria lobata</i> Ohwi)	36-41
2011	3	伊藤幹二	都市の気候変動と深刻化する雑草問題	9-20
2011	3	中川洋一	センチピードグラス	21-25
2011	3	宮池武蔵	セントオーガスチングラス	26-31
2011	3	伊藤操子・ 伊藤幹二	私達のセンチピードグラス・セントオーガスチングラス —集合住宅緑地に適用して—	32-37
2011	3	伏見昭秀	ヒルガオ (<i>Calystegia</i> 類)	38-44
2011	3	伊藤操子	スギナ (<i>Equisetum arvense</i> L.)	45-52
2012	4	黒川俊二	緑地管理における外来種と在来種 —そのリスク管理について—	8-18
2012	4	伊藤幹二	草(くさ)の歴史:時代が変えた緑地景観	19-30
2012	4	長沼和夫	シバ (<i>Zoysia japonica</i> Steud)	31-34
2012	4	伊藤操子	ワルナスビ (<i>Solanum carolinense</i> L.)	35-43
2013	5	吉岡俊人	生えるべきか生えざるべきか:雑草種子の休眠と発芽の機構	9-15
2013	5	伊藤幹二	‘草’は表土を創り育む:日本人が忘れていた大切なこと	16-27
2013	5	本間和枝	匍匐性タイム	28-33
2013	5	山下雅幸	ネズミムギ (<i>Lolium multiflorum</i> Lam.)	34-42
2014	6	伊藤幹二	‘草’と‘緑’にかかわる不都合な事実:喪失する公益的環境機能	2-11
2014	6	敖敏	草原の退化とその社会的・自然環境的背景 —内モンゴル草原を例に—	12-18
2014	6	長沼和夫	コウシュンシバ (<i>Zoysia matrella</i> Merr.)	19-22
2014	6	下野嘉子	ヨモギ (<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara) ~緑化植物の観点から~	23-31
2014	6	伊藤操子	セイバンモロコシ (<i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers.)	32-39
2015	7	伊藤幹二	持続可能な緑地生態系の管理:雑草生物学の視点から	2-11
2015	7	稲垣栄洋	雑草学の観点から害虫防除を考える:アカスジカスミカメ駆除の事例から	12-19
2015	7	柴田昌三	緑化植物としてのササ類	20-29
2015	7	伊藤操子	ヨモギ (<i>Artemisia princeps</i> Palm.): 雑草としてのその素顔	30-37
2015	7	吉岡俊人・ 青山のぞみ	アゼオトギリ —絶滅まであと30年の雑草—	38-47
2016	8	伊藤操子	世界における除草剤の歴史: その誕生・発達・変遷	3-11

2016	8	伊藤幹二	日本の雑草防除史:除草剤は社会経済的背景とどう関わってきたか?	12-27
2016	8	吉岡俊人・高橋智子	雑草の全滅リスク分散戦略:種子の散布と休眠・発芽の視点から	28-47
2016	8	中山祐一郎	都市河川における望ましい植生とは 一堤防に咲く“菜の花”から考える一	48-58
2016	8	長沼和夫	バミューダグラス(<i>Cynodon</i> 属)	59-63
2016	8	芝池博幸	外来性タンポポ種群(<i>Taraxacum officinale</i> agg.) 一学名から考える侵入・定着・交雑一	64-72
2017	9	伊藤操子	除草剤と植物一その1:雑草はどうして枯れるのか	2-12
2017	9	黒川俊二	外来植物の伝播と生活圏緑地への拡散:その起源と経路を探る	13-21
2017	9	長沼和夫	芝生の世界一基礎から応用まで一	22-26
2017	9	伊藤幹二	雑草リスク情報一その1:雑草による傷害	27-36
2018	10	伊藤操子	除草剤と植物一その2:地下で広がる多年生雑草が制御される仕組み	2-15
2018	10	浅井元朗	雑草管理者のための雑草の識別と調査の基礎	16-30
2018	10	黒川俊二	アレチウリ(<i>Sicyos angulatus</i> L.)	31-38
2018	10	吉岡俊人・日下部智香	ヒメムカシヨモギとオオアレチノギク一放浪種としての生存戦略一	44-53
2018	10	伊藤幹二	雑草リスク情報一その2:その傷害や病気, 実は雑草が原因です	54-65
2019	11	中山祐一郎	刈取りで変わる植生	4-14
2019	11	伊藤幹二	除草剤はどう生まれ育つのか	15-27
2019	11	大黒俊哉	砂漠化対処のための土地・植生の診断・治療・予防	28-37
2019	11	露崎浩	メシバの形態・生態的特性および生育地への適応的個体群分化	38-45
2020	12	伊藤操子他	公園緑地の雑草発生状況と管理の課題一広域実態調査からみえること	1-15
2020	12	佐治健介	雑草害の拡大防止に防草シートをどう活かすか	16-26
2020	12	角龍市朗他	循環型緑地管理における植物発生材マルチの活用	27-36
2020	12	伊藤幹二	雑草リスク情報一その3:豪雨災害と雑草管理	37-48
2021	13	山田晋	雑草植生の形成と維持に及ぼす種間相互作用と土壌化学性の影響	1-12
2021	13	與語靖洋	農薬の安全性について	13-25
2021	13	中川豪他	織布シートを活用した持続可能な植被形成技術:シバザクラを例に	26-37
2021	13	伊藤幹二	雑草リスク情報一その4:知る人ぞ知る雑草花粉の脅威	38-48
2022	14	黒川俊二	有害植物の定義に追加された‘草’:植物防疫法の改正で何が変わるのか	1-11
2022	14	中山祐一郎・金岡琴美	都市緑地における草本植物の種多様性一大阪府立大学中百舌鳥キャンパスの事例	12-29
2022	14	黒川俊二	ナルトサワギク(<i>Senecio madagascariensis</i> Poir.)	30-39
2022	14	伊藤幹二	雑草リスク情報一その5:止まらない雑草蔓延と対策不作為の実態	40-48
2023	15	伊藤幹二	深刻化する生活圏の雑草リスク:日本は何処で何を間違ったのか	1-13
2023	15	黒川俊二	帰化アサガオ類は緑地管理場面において侵略的か	14-23
2023	15	伊藤操子	芝生と雑草一その1:芝地への雑草の適応戦略を知る	24-35

2023	15	佐治健介	「列島ゴルフ場の科学」の紹介	36-42
2024	16	伏見昭秀	瀬戸内沿岸中山間地域における大型芝生畦畔法面の維持管理	1-12
2024	16	山田晋・ 中山祐一郎	目的に応じて植生を変える管理方法—生物多様性への配慮が必要となった場合を例に	13-26
2024	16	伊藤操子	中山間地域等での耕作放棄で増大する植生荒廃地:実態調査と対策への提言	27-37
2024	16	伊藤幹二	芝生と雑草—その2:ゴルフ場芝地の除草剤使用に見る雑草管理の変遷	38-48
2025	17	富永達	グリホサート抵抗性雑草の特性と日本における出現状況	1-12
2025	17	井原希	ナガエツルノゲイトウ (<i>Alternanthera philoxeroides</i> (Mart) Griseb.)—生態とそこから考える今後の管理—	13-23
2025	17	伊藤操子	メリケンカルカヤ (<i>Andropogon virginicus</i> L.):高い侵略性を支えるその属性	24-33
2025	17	川本あづみ	葛粉の話:吉野本葛の歴史と次世代への取り組み	34-41
2025	17	小崎隆志・ 伊藤幹二	葛布の話:掛川葛布産業の歴史とその継承に向けて	42-47